【教育長賞】一人ひとりを大切に

中津市立今津中学校 2年 中島 聖菜

みなさんは、日常生活で「これはおかしい」と思ったことはありませんか。私はあります。SNSで「ブス」や「キモイ」などというコメントを見たときです。

この様なコメントを書き込むことはどうなのでしょうか。実際、その様に感じる場面もあるかもしれません。しかし、コメントに書き込むと、書き込まれた本人はどう感じるのでしょうか。嬉しいと感じる人はいないはずです。私はこのコメントを見たとき、どうしてこんなコメントが書き込めるんだろうと思いました。もし、自分の投稿を否定されたらだれでも嫌だと思います。私も嫌です。ましてや、一生懸命おどったり、作ったりした投稿で「下手」などと書き込まれるとだれでも落ち込むと思います。

私は一度だけ、その様なコメントに「それはダメなんじゃない？」と送ってみました。すると返ってきたのは、「事実なんだからいいだろ」や、「本当じゃん」などの言葉でした。

そこからはケンカになると思ったので返信せず、放置しました。なぜそんなに強く言えるのだろうか、と考えました。私なりの答えは、「相手の気持ちを考えていない」ということでした。もし、世界中のみんなが、相手の気持ちを考えるようになったら、良い世界になるのではないかと思います。今の生活でもありますが、道をゆずったり、ほめ言葉を使ったりすることで、世界はよりステキになると思います。

ほかにも日常生活での陰口にも同じことが当てはまると思います。感じることは、別に良いと思います。ただ、口に出したり、ネットに書き込んだりすることで耳にも文字にも残ります。例えば、見た目や性別など変えられないことや生まれもった個性を否定されると、心は深く傷つきます。しかし、良い言葉を見たり、聞いたりすることはどうでしょうか。ある投稿では、アザがある人が出ていました。その投稿には、「ハートみたいでかわいい」や「斑点でかわいい」などというコメントが書き込まれていました。この様なコメントや、否定せずプラスに考えるコメントは、投稿した本人も嬉しいと思います。

しかし、こんなコメントもありました。「普通はじゃない。」みなさんにとっての「普通」とは何だと思いますか。私は、「普通」というものは無いと思います。自分は「普通」だと思う人が多いだけであって、その「普通」は一人ひとり違うと思います。

また「普通」という言葉は人を傷つけることもあります。人それぞれ育った環境や考え方、得意なことや、苦手なことは違います。つまり、相手にとっての「普通」は自分にとっての「普通」ではないことがあると考えます。だからこそ、「普通」という言葉は、誰かを傷つけたり、生きづらくさせたりしてしまうと思います。

SNSでのコメントと、日常生活での言葉について考えてきました。私はSNSでのコメントと、日常生活での言葉は、それぞれ違うように見えて実は似ていると思います。それは、どれも相手の気持ちを考えていれば相手を傷つけることが起こりにくいということです。人間はAIで無く、感情を持った「人」なのです。相手にも自分と同じ様に感情があり、表現の仕方によっては、傷つくことがあるということを頭に入れておきたいです。そうすることで私たちの言動や行動も変わりより良いステキな世界になるのではないでしょうか。